健康サポート薬局に係る研修

A・B 同日開催「健康サポートのための多職種連携研修会」

開催・受講者募集のご案内

主催：一般社団法人 愛媛県薬剤師会
共催：公益社団法人 日本薬剤師会

薬局が「健康サポート薬局」である旨の表示を行うにあたり、厚生労働大臣が定める基準で規定される「常駐する薬剤師の資質に係る所定の研修」を修了した薬剤師が常駐する必要があり、届出にあたっては所定の研修修了証の提出が必要とされています。

今年度も、日本薬剤師会・日本薬剤師研修センターの両団体が合同で当該研修を実施しており、本会はその協力機関として下記研修会を開催いたします。受講希望の方は、下記によりお申込ください。

なお、研修会Bの実施に際し、健康サポート薬局研修の受講を目的とする薬剤師に加え、セルフケア・セルフメディケーション研修の受講を目的とする薬剤師も対象に含めて開催いたします。

記

1　研修会名　：A 健康サポートのための多職種連携研修会　研修会番号：健 A-2026-38-056
　　受講対象：新規受講者、更新受講者

　　研修会名　：B 健康サポートのための多職種連携研修会　研修会番号：健 B-2026-38-044
　　受講対象：新規受講者、更新受講者で希望される方(必須ではありません)

2　開催日時　：令和 8 年 12 月 20 日（日）
　　A　9：20～13：25　　B　14：00～19：00

3　場　　所　：愛媛県薬剤師会館　3F 大会議室
　　松山市三番町 7-6-9　TEL：089-941-4165　FAX：089-921-5353

4　定　　員　：各 50 名

5　受 講 料　：研修会 A　会員 ：5,000 円　非会員 ：15,000 円
（税込）　研修会 B　会員 ：5,000 円　非会員 ：15,000 円
※A･B 両方を受講される場合は、会員 10,000 円、非会員 30,000 円となります。
受講料は、「日薬研修プラットフォーム」上でのお支払いになります。

研修会 B でセルフケア・セルフメディケーションを学びたい方：無料
（受講対象に制限はございませんが、受講証明書の発行はございません）

6　内　　容　：別添次第のとおり

7　受講申込・受講料の支払い　：12 月 10 日（木）締切

本研修会は「日薬研修プラットフォーム」を使用しての申込・支払いになります。
日薬研修プラットフォーム➡ https://nichiyaku.manaable.com/login
※A・B 両方を受講される方は、研修会 A と研修会 B の両方にお申込みください。

研修Ｂでセルフケアメディケーションを学びたい方（受講無料・受講証明書の発行なし）の申込はこちらから➡ https://forms.gle/oYjUrmJXEQjkmorCA

8　準 備 物　：研修会Aを受講される方は、添付の事前課題をご記入のうえ当日ご持参ください。

9　そ の 他　：研修会A･B両方の受講者には軽食をご用意致します。

■　受講対象者について

すでに「健康サポート薬局」である旨を表示し得る業務体制を有する薬局に従事しており、健康サポート薬局の意義や諸規定を理解し、健康サポート薬局として地域住民の健康の保持増進に貢献する意欲のある薬剤師を対象とします。

研修の修了要件には薬剤師として薬局での５年の実務経験が必要であることから、今回の研修会は、既に薬局での５年の実務経験を有する方を優先的に受け付けます。（なお、実務経験が５年に満たない場合、修了証発行の申請ができません）

■　受講証明書について

研修会を受講し、所定のレポートを提出された方に、当該研修会の「受講証明書」を発行いたします。受講証明書の有効期限は「発行日より３年間」となっております。

■　研修修了証の有効期限と更新について

研修修了証の有効期限は発行日から６年間です。有効期限の２年前以降に、薬局が所在する都道府県の薬剤師会が開催する「研修会Ａ」を受講し、研修修了証の有効期限の２ヵ月前までに、更新申請を完了(手数料振込・郵送必着)することで更新ができます。

■　健康サポート薬局の届出に関する基本的要件について

・かかりつけ薬剤師の要件を満たすことが最低要件

・常駐する薬剤師は薬局での５年以上の実務経験

・個人情報に配慮した相談窓口（パーティション等）の設置

・要指導医薬品等のＯＴＣ備蓄品目は薬効群毎に 48 分類以上の在庫リスト

・衛生材料及び介護用品等の備蓄品目リスト

・在宅対応の実績

・土曜、日曜のいずれかの曜日に４時間以上開局

・ｅ－ラーニング受講 22 時間（受講料（税込）：8,800 円）

・「A・B 健康サポートのための多職種連携研修会」受講者

■　欠席される場合について

やむを得ず欠席される場合は、下記までご連絡願います。

12/18（金）17：20 まで　　089-941-4165（県薬事務局）

12/18（金）17：20 以降　　089-932-2141（県薬事務局）

～　健康サポート薬局研修　～
健康サポートのための多職種連携研修会【研修会Ａ】次第

日時：令和 8 年 12 月 20 日（日）　9 時 20 分～13 時 25 分
場所：愛媛県薬剤師会館　3Ｆ大会議室

主催　一般社団法人 愛媛県薬剤師会
共催　公益社団法人 日本薬剤師会

司会　かかりつけ薬局委員会　委員　黒川　大輔

開会挨拶　愛媛県薬剤師会　会長　田中 智美

１．健康サポート薬局の基本理念

（１）健康サポート薬局の基本理念　（9：20～9：45【25 分】）
日本薬剤師会　会長　岩月　進、常務理事　杉村　紀明（ＤＶＤ講義）

（２）健康サポート薬局の理念：地域包括ケアに対応した薬局・薬剤師
「私たちが目指す健康サポート薬局の姿」　（9：45～10：05【20 分】）
愛媛県薬剤師会　かかりつけ薬局委員会　委員　佐川　禎朗

（３）グループ討議：薬局が地域の資源とどのように繋がるか　（10：05～10：25【20 分】）
愛媛県薬剤師会　かかりつけ薬局委員会　委員　三谷　洋右

２．当該地域の医療・保健・健康・介護・福祉等の資源と健康サポート薬局の連携

（１）当県における健康課題と健康増進施策
「愛媛県の健康づくり事業について」　（10：25～10：55【30 分】）
愛媛県保健福祉部 健康衛生局 健康増進課 健康政策グループ　担当係長　田坂　慎太朗

（２）愛媛県の医療・保健・健康・介護・福祉等の資源、他職種等の取り組みについて
（10：55～11：25【30 分】）
愛媛県薬剤師会　常務理事　縄田　幸裕

３．演習　（11：25～12：55【90 分】）
地域包括ケアシステムの中で健康サポート薬局としての役割を発揮するための各職種・機関との連携による対応等に関する演習
演習進行：愛媛県薬剤師会　かかりつけ薬局委員会　委員　三谷　洋右

（１）ケーススタディ
（２）発表
（３）演習のまとめ（レポート作成）

４．まとめ（12：55～13：25【30 分】）
私たちの目指す健康サポート薬局の姿
愛媛県薬剤師会　かかりつけ薬局委員会　委員　三谷　洋右

（１）グループ討議（健康をサポートする薬局として今私たちに何ができるか）
（２）発表
（３）演習のまとめ（レポート作成）

～　健康サポート薬局研修　～
健康サポートのための薬剤師の対応研修会【研修会Ｂ】次第

日時：令和 8 年 12 月 20 日（日）　14 時 00 分～19 時 00 分
場所：愛媛県薬剤師会館　３Ｆ大会議室

主催　一般社団法人 愛媛県薬剤師会
共催　公益社団法人 日本薬剤師会

司会進行 ： かかりつけ薬局委員会　委員　黒川　大輔

０．薬局・薬剤師を巡る現状と健康サポート薬局 （14：00～14：10【10 分】）
（導入講義）
愛媛県薬剤師会　理事　安藤　智宏

１．一般用医薬品等を取り巻く現状 （14：10～14：43【33 分】）
日本薬剤師会　副会長　渡邊　大記（ＤＶＤ講義）

２．薬局利用者の状態把握と販売時と販売後の対応（演習） （14：43～18：35【232 分】）
題材：鼻炎
講義、グループワーク、ロールプレイ等を通じ、薬局利用者の相談内容から適切に情報を収集し、状態、状況を把握し、それに合わせた適切な対応を行う力を身につけます。

講師：日本薬剤師会　一般用医薬品等委員会　委員長　亀山 貴康（ＤＶＤ講義）※1
昭和大学薬学部　社会健康薬学講座 医薬品評価薬学部門
准教授　亀井 大輔先生（ＤＶＤ講義）※2
※1（２）以外の全てのパートを担当、※2（２）を担当

（１）導入とアイスブレイク
（２）薬剤師の臨床判断～需要者からの情報収集と症候学的な思考プロセス～
（３）適切な医薬品選択と提案のための情報収集とその考え方
（４）添付文書の伝え方～安全で有効な使用のために～
（５）販売時と販売後の対応
（６）演習のまとめ

演習進行　愛媛県薬剤師会　常務理事　長富　英明
愛媛県薬剤師会　理事　宮本　章平

３．演習のまとめ （18：35～18：40【5 分】）
愛媛県薬剤師会　理事　宮本　章平

４．レポート作成 （18：40～18：55【15 分】）

５． 閉会挨拶（全体のまとめ） （18：55～19：00【5 分】）
愛媛県薬剤師会　常務理事　縄田　幸裕